

3月14日

○議長（兼田勝久君） それでは、全員ご起立願います。黙祷。

[起立・黙祷]

○議長（兼田勝久君） 黙祷、直れ。ご着席ください。

○事務局長（有江喜久雄君） ご起立ください。一同、礼。

[起立・礼]

○議長（兼田勝久君） これより本日の会議を開きます。

(午後4時45分開議)

○議長（兼田勝久君） 本日の日程は、配付しています議事日程のとおりであります。

○議長（兼田勝久君） 日程第1、議案第45号 平成22年度始良市一般会計補正予算（第10号）を議題とします。

○議長（兼田勝久君） 提案理由の説明を求めます。

○市長（笹山義弘君） 登壇

議案第45号の提案理由を申し上げる前に、今般の3月11日に発生いたしました東北地方・太平洋沖地震では、未曾有の災害が起こっているようでございます。このたび被災をおうけになられた皆様方のご冥福を心からお祈り申し上げたいと存じます。

それでは、提案理由を申し上げます。議案第45号 平成22年度始良市一般会計補正予算（第10号）につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

今回の補正は、3月11日に発生しました東北地方・太平洋沖地震での甚大な災害に対して、本日鹿児島県危機管理局から本市消防本部あてに、緊急消防援助隊の派遣要請があり、救急部隊3名及び後方支援部隊2名の計5名を8日間派遣することとなりましたので、所要の経費を計上いたしました。

第1条、歳入歳出予算の補正につきまして、歳出の補正内容を申し上げます。

お手元の予算書7ページ、常備消防費100万円の追加は、現地への派遣旅費及び高規格救急自動車等の燃料費等を計上し、また、隊員の派遣により、本市消防本部が手薄になることから、代替職員として消防職員OBの方を事務補助者として雇用するための賃金を計上いたしました。この財源といたしましては、6ページに掲げてありますとおり、市税の固定資産税で対処いたしました。これによりまして、補正後の歳入歳出予算総額は、274億9,365万7,000円となります。よろしくご審議の上、議決くださいますようお願い申し上げます。

○議長（兼田勝久君） 提案理由の説明が終わりました。

○議長（兼田勝久君） これから質疑を行います。

今回は緊急に招集いたしましたので、質疑通告制は採用しません。

質疑はありませんか。

○5番（田口幸一君） ただいま市長の提案理由でよくわかりました。私もテレビや新聞報道で痛いほど感じておりますが、この補正予算に対しては、心から賛成をするものでございます。既に5名の方々が出発をされたということですが、ここに事務補助者賃金、普通旅費、需用費の燃料費と賄材料費が組んでございますが、これで8日間ということですが、足りるのか、もし足りないとしたら、今会期中にまたそういう提案になるのか、そこをお聞かせいただきたいと思います。

それから、ここに歳出のほうで常備消防費として、歳入は固定資産税ということですが、私もよくはわかりませんが、予備費の充用等は考えられなかったのか、また、今後、恐らくこの100万円じゃ足りないと思いますので、たくさんまだ8日間の滞在日数でもまたどうかなと考えます。そこ辺のところを、基本的には私は賛成の立場で質疑を行っておりますので、説明を求めます。

○消防長（宮原千年君） お答えいたします。今原則としまして、緊急援助隊の場合は、72時間、俗に言います、生存者の72時間というのが限定されておまして、通常ならば3日ぐらいで隊は帰ってくる予定でございますけれども、今回の場合は遠方でございますので、とりあえず8日間というようなことで計上させていただきました。そのようなことで、もし場合によって延長される場合は、またそのときにご検討をお願いせざるを得ないというふうに考えております。

以上であります。

○総務部次長兼財政課長（花田實徳君） 予備費の充用についてお答えします。

予備費の充用も考えたわけですが、前回の災害で一応予備費の流用、それと、ことしの2月になって1月末だったですかね、教育委員会のほうで学校の外壁等がもう崩れ落ちるということで、これはもう危険があるということで、急遽そちらのほうに予備費の充用をした関係上、予備費のほうがもう手薄になっていた関係で、一応固定資産のほうから充当しました。

以上でございます。

○議長（兼田勝久君） ほかにございませんか。

○13番（里山和子君） この100万円で現年度課税分のようなのですが、徴収率は何パーセントぐらいになってくるかということと、この出動されるわけですが、大体海路で行かれるように書かれているんですけど、大体どのあたりに行かれるのか、どういう活動をされるのかわかっていたらお答えいただきたいと思います。

それから、予備費を組む必要はなかったのかというふうに考えますが、1,000万円——今本当にこういうことで、どこで災害が起こるかかわからないというような状況ですが、予備費が1,000万円ぐらい組んであれば、すぐにそれに対応できたのではないかと思いますけれども、また今後も年度末に当たっていますので、どういう要請が来たりとか、まだ進行中ですから、災害もどういうことになるか検討もつかない状況ですが、そのときに対応して予備費を今後組む必要はないのかということですね。

それから、市職員や要請があればまた行かれるということにもなるとは思いますけど、救援ボランティア

ィアなどは考えなくていいのかということです。

それから、市としての寄附金といいますか、大きな災害ですので、市長を介し市議会議長会あたりでも、そういうまた要請とかがあるのかもしれませんが、そういう本当にこういうときには先だってそういう寄附金なども募って、市としても差し上げるべきではないかと思ったりしますが、市民の募金も募ったりとか、そういうようなことは考えられないのか、お尋ねいたします。

○消防長（宮原千年君） お答えいたします。一応陸路で今北上中でありまして、鹿児島県隊としまして、えびのに集合しまして、それから北上中ということで最新の情報をもらっております。
以上であります。

○総務部次長兼財政課長（花田實徳君） 税の徴収率にお答えします。
一応決算見込みとして97%を見込んでおります。それと、今後の予備費についてですが、非常時の場合、財政調整基金等がございますので、そちらのほうをまた活用していきたいと思っております。予備費については、大体今の予算規模からいくと2,000万円程度が適当ではないかということと言われておりますので、あまり予備費を多く持つといろいろまた問題がありそうですので、一応非常時の場合は財政調整基金等で対応していきたいというふうに考えております。
以上でございます。

○総務部長（前畠利春君） 今回の件につきまして、職員の派遣要請というものについて、まだ現段階では被災地のほうはまだ災害が発生している状況であるということで、専門的な分野で消防署職員等を今派遣しているところでございます。
あと市職員のボランティア的なものについては、ボランティア休暇制度等も設けておりますので、その時期にそのような対応ができるのではないかと考えております。
寄附金の募集につきましては、既に総務部のほうで各部署に公共的施設のほうに募金箱を設置いたしまして、既に配置の準備がもう整っております、配置先に今配付中でございます。
以上でございます。

○市長（笹山義弘君） いろいろボランティア等のご質疑がございました。今朝それぞれに指示いたしまして、社会福祉協議会と福祉部で協議するように指示したところであります。含めて、いろいろとボランティアに出たいというようなお問い合わせの電話等もいただいております。これらについても対応するように指示しております。
それから、いろいろと援助物資、毛布等の対応についても要請があったら瞬時に対応できるようにということについても指示しているところでございます。

○議長（兼田勝久君） ほかにございませんか。

○2番（新福愛子君） 3点お尋ねいたします。
まず、1点目が、県からの要請で5名の方が出動されておりますけれども、この5名の根拠、県から例えば人口規模に応じて、このぐらいの人数ということで要請があったものかということを確認さ

せてください。

2点目が、今後長期化する可能性が十分あるわけですが、またこの後に増員という可能性というのがまた出てきた場合の対応。

それから、現実、私どもの町でも今後もずっと現実行くわけですけれども、留守中の対応で、本市の救急体制や消防体制はどのようになっていくか。

以上、3点お願いいたします。

○消防長（宮原千年君） お答えいたします。現在鹿児島県下で19消防本部ありまして、今回の出動要請に対しまして、15消防本部が対応するように先般12日のとりまとめをした現在で報告がなされまして、27隊の93名が参加するようになっております。若干北上する職員から報告によりまして、追加されている隊があるように情報が流れてきておるようですので、まず増加しているのかなというふうにも感じております。これは一応根拠としましては、私どものところでは、救急隊と、それから支援隊、その隊を緊急援助隊というようなことで現在組んでおります。

それと、ご承知のとおり、昨年、いま現在配備をしているのが始良分遣署に配備をしている高規格車、これが補助金で導入をかけておりますので、こういう緊急時の場合にやはり出動要請がかかるというようなことで、今後ご理解をお願いしたいと思います。そういうようなことで救急隊1隊、それから、単独ではどうしても職員も疲れてまいりますので、支援隊というようなことで支援隊2名を参加をさせております。

増員につきましては、今後の推移を見なければならぬわけですが、きのうの、あるいは今朝の情報でも、広島まではそういう隊が入っているという情報が入ったわけですが、急に今朝、午前から午後にかけて、そういう出動要請がかかりまして、先ほどご報告申し上げたような状況でございます。増員につきましては、まだどうしても現場のそういう状況次第では、またなるかもわかりませんが、その場合はまた先ほど申し上げましたように、また補正とかいろいろ対応方をお願いしなければならぬかもわかりませんが、いま現在ではそういうことで8日間ということで出動をさせております。

それと、留守中の関係につきましては、精鋭部隊を送っているわけですが、留守中につきましては、また近々に退職された方々に対しまして、私のほうから要請をいたしまして、いま現在8名の方と連絡をとりまして、その方々に勤務可能有無を確認しまして、もうこういう状態ということをご承知で、気持ちよく出動要請に応じていただけるふうに感じたものですから、今回の補正に計上させていただきました。

そういうことで、一応本部のほうのお手伝いをさせていただくと、日勤をお手伝いしていただくというような形に考えておりまして、いま現在本部に若い隊員がおるわけですが、その隊員を下の現場のほうに回しまして、OBは総務消防本部のほうに通信、あるいは予防、警防というような箇所、昔とったきねづかを發揮していただければというようなふうに考えております。隊員が精鋭部隊を送りましたけれども、またより以上の職員が充実させてありますので、そういう点についてはご心配は要りませんので、よろしく申し上げます。

以上です。

○議長（兼田勝久君） いいですか。ほかにございませぬか。

○3番（湯元秀誠君） 聞きたいことは、ほかの議員の方々は今質問していただきましたので、2点ほど、今回のこの支援の現地の場所等はまだ判明していないものか、それが1点ですね。

それと、始良市長を初め、我々始良市民7万5,000弱のこの市民が、非常にこの4日間悲痛な思いでテレビにくぎづけなのですが、そういうところの7万5,000弱の人々の代表として今回5名派遣されるわけですね。通常の勤務ならまだしも今回は非常に体を張っての勤務じゃなかろうかと思えます。ご家族の方々も含めて非常に心配される向きもあるかと思えますが、今回この5名の隊員の名簿提出ができたなら、我々もいただきたいと思うわけですが、いかがなものでしょうか。

○消防長（宮原千年君） お答えいたします。現地につきましては、とりあえず北上させまして、向こうの指揮本部に配下に入らない限り、恐らく情報は得られないというようなふうに思っております。先ほども申し上げましたとおり、広島から西北九州管内の隊員が今回北上を恐らくしているだろうというふうに考えております。それがどの隊へ、どの県へ配属されるのか、向こうのほうに到着してから恐らく報告が来るというようなことをご理解をしていただければと思います。

それから、名簿の関係につきましては、後ほど提出させていただきますので、よろしいでしょうか。以上、お答えしまして、以上であります。

○議長（兼田勝久君） ほかにございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（兼田勝久君） これで質疑を終わります。

○議長（兼田勝久君） お諮りします。議案第45号 平成22年度始良市一般会計補正予算（第10号）は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略し審査したいと思います。ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（兼田勝久君） 異議なしと認めます。したがって、議案第45号 平成22年度始良市一般会計補正予算（第10号）は、委員会付託を省略することに決定しました。

○議長（兼田勝久君） これから討論を行います。討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（兼田勝久君） 討論なしと認めます。

○議長（兼田勝久君） これから議案第45号 平成22年度始良市一般会計補正予算（第10号）を裁決します。

この裁決は起立によって行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

○議長（兼田勝久君） 起立全員です。議案第45号 平成22年度始良市一般会計補正予算（第10号）は、原案のとおり可決されました。

○議長（兼田勝久君） 以上で本日の議事日程は全部終了しました。
したがって、本日の会議はこれをもって**散会**とします。

○事務局長（有江喜久雄君） ご起立ください。一同、礼。
[起立・礼]

○議長（兼田勝久君） どうもご苦労さんでした。

(午後5時05分散会)